

菩提達摩センター

(カンチプラム、南インド)

設立計画趣意書

菩提達摩を記念する新しいプロジェクト

菩提達摩と禅仏教

達摩大師（菩提達摩 Bodhi Dharma）は、6世紀初めの頃にインドから東地中国に至り、大乘の仏教をもたらした僧である。菩提達摩は南インドのある王国の王子として生れたといわれ、中国の嵩山少林寺での「面壁九年」の故事は、中国・日本の禅宗の淵源となり、禅宗初祖と尊崇されている。中国・日本など東地への影響は計り知れず、禅宗教団にとどまらず、東アジア各国の人々の生活、文化、習慣などに深い影響をあたえてきた。現代においても、その重要性は弱まるどころか、影響と魅力は一層増しつつある。



神光求法図： 少林寺の雪中で神光（左）が菩提達摩（右）の法を求めるの図。
神光は後の二祖慧可。（南宋13世紀の画家 梁楷（りょうかい）作、上海博物館）。

新しい大事業

南インドの大都市チェンナイにあるアジア文化研究所（Institute of Asian Studies）は、アジア各国文化の研究に従事する国際的な研究機関である。アジア各国の密接な連帯と友好を実現するために仏教の役割の重要性を認識して、当アジア文化研究所はアジア各地への仏教伝播を研究するプロジェクトを推進している。その方針に沿ったプロジェクトの一つが、菩提達摩の功績を顕彰する研究センターの設立計画である。菩提達摩はインドの生んだ偉大な仏僧の一人である。アジア文化研究所は、チェンナイから数十キロ南西の菩提達摩の生地であるカンチプラムに約2エーカー（約8010平米、約2400坪）の土地を所有し、将来そこに記念碑、僧院、インド哲学研究センター、および法堂・静座のためのホール、の建設を計画している。

歴史的背景

菩提達摩の生地は中国の歴史書によれば「香至国」と記されている。従来それが南インドのどの地方にあるかは、はっきり認識されてこなかった。しかし現代の国際化、仏教の世界化の時代になって、達摩大師の生地の同定に大きな関心もたれるようになった。唐の時代には、香至は Kang-zhi と発音されていたと思われる。そこで香至国は南インドの Kanchi-puram に違いないと考えられている（-puram は町あるいは古代の国の意である）。Kanchipuram（カンチプラム）はタミルナド州にある古都で、菩提達摩の時代にはパッラバ王朝の都があったところである。

カンチプラム - 古代の仏教センター

カンチプラムは大乗仏教運動の一つの中心地であった。当時は北インドのナーランダ大学との仏教僧侶・学者の交流が頻繁にあったことが知られている。残念ながら、この偉大な町の仏教遺跡の多くが、時代の趨勢および反仏教運動のために、ほとんど消失してしまっている。現在はヒンドゥ教の聖地になっているが、わずかにチェンナイ博物館に保存されている尊厳ある仏陀立像（右図、高さは人の丈を若干上回る）は、それが発見されたカンチプラムの寺院での往古の仏教の盛時を偲ばせてくれる。いまでも、この古都の寺院では仏教関連の多くの遺跡を見つけることができる。



仏陀立像 (6-7 世紀)
(チェンナイ博物館)

斬新で広い視野のプロジェクト

このような仏教の歴史をふまえ、また現代世界でのその役割の大きさを考えるとき、カンチプラムに菩提達摩センター(Bodhi Dharma Cente)を設立するプロジェクトの意義は大変大きい。そのセンターには、記念碑および菩提達摩に因んだ僧院を建設し、さらにインド哲学の研究センター、および法堂・静座のためのホールなどが計画されている。その配置図の試案は以下に示されている。

カンチプラムに Bodhi Dharma Cente（略して BDC）が設立されれば、インド・日本・中国に限らず、東アジア全体、さらには世界の仏教徒にとっての聖なる地となることであろう。そこは菩提達摩の教えのセンターとなるであろうし、さらにはインド哲学あるいは大乗仏教の研究の核となる。仏教徒に限らず、将来そこを訪れる者には、菩提達摩の教えに親しむ機会となるであろうし、大乗仏教、ひいてはインド哲学に親しむ場所となるであろう。このプロジェクトは、試算では約 1,000,000 米ドルの経費が諸施設建設のために見込まれる。

以上の趣旨により、Bodhi Dharma Cente (BDC) の建設のため、この新プロジェク

トの早期達成のために、賛同の志の士を広く呼びかけるものである。

2009年1月31日

神部 勉 (Tsutomu Kambe), Member of Board of Governors of IAS,
BDC プロジェクト・ディレクター (IAS)
仏教徒 (曹洞宗居士), 元東京大学教授
東京都目黒区 (Japan)
Email: kambe@ruby.dti.ne.jp HP: <http://www.purple.dti.ne.jp/kambe/>

アジア文化研究所 HP: <http://xlweb.com/heritage/asian>
IAS : Institute of Asian Studies
Chemmencherry, Shollinganallur (P.O.), Chennai-600 119, INDIA

施設配置設計図 (概略) 試案

(2009年1月31日)

